

令和5年度第三者評価 改善状況報告書

令和6年3月31日

施設名	港区立ケアハウス港南の郷	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区港南3-3-23	指定管理者	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部東京都済生会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和6年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和6年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
事業計画や運営指針の検討に職員が参画し、ボトムアップ方式で取り組んでいる。職員の企画・提案内容について、各種委員会や行事・理念研修等でも議論・検討を重ねている。一方、職員の育成については、職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の年間人材育成計画や、職員研修委員会での研修計画策定を通して計画的に進めているが、より一層の検討が望まれる。非常勤職員を含めた職員一人ひとりの意欲向上や、育成の取り組みをさらに充実させていくことが望ましい。		港南の郷全体としての毎月の委員会活動には毎回参加（書面会議含める）した。研修についても年間計画で定められた内部研修の他、必要性の高い研修は、東社協や港区主催の研修会に参加し、自己研鑽に努めた。その他に、済生会の法人研修や東社協の軽費老人ホーム部会の研修や交流会に参加し、自己施設以外の職員とも交流し、情報交換を行った。	委員会活動や内部研修にとどまらず、必要性や個々の職員が興味を惹かれるような研修に積極的に参加できるような職場環境を整え、港区役所や東社協、済生会の研修や人材交流の機会を積極的に活用していきたい。	職員育成について、内部研修以外にも外部研修への参加により、職員が自己研鑽に努めていることを確認した。また、職員が研修に参加しやすい環境を整えていく意向であることも確認した。
自立型で自由が尊重されている施設であるため、生活上のマナーなどを巡って利用者間の対立が生じることがある。毎月の定例会は、生活ルールの確認、情報共有、利用者間の意見交換の場として機能している。定例会は、一定のルールを設けて実施しているが、徐々に参加する利用者が限られてきているため、マナー違反などがあれば、先ずは職員に相談して欲しいと日頃から伝えている。今後も引き続き、利用者間の人間関係を良好に保つための支援が望ましい。		日頃から入居者個々人と向き合い、対話することによって利用者間の摩擦の軽減を図り、定例会での入居者間の対立構造が発生しないように努めた。クラブ活動や季節の行事を通じて入居者同士の交流の場を設けた。その他、共用部のベランダでの草花の栽培や共用部に育てた草花を生けることによって、入居者が草花を通じて会話をしたり、交流するきっかけ作りなどにも力を入れた。なかなか払しょくしない食事への不満も、食事の意見箱を設置し、定例会にて意見に対して具体的な回答を行うことによって、不満が大きくなるように努めた。	基本的に、小さな不満を、入居者と対話することで大きな不満に発展させないよう対応していきたい。食事の意見箱をはじめ、入居者の意見を拾い上げ、対応をする事で、不満をため込まないような体制づくりを心がけていきたい。	毎月行う定例会により、生活ルールの確認や意見交換を行うことで、利用者間の対立防止に努めていることを確認した。定例会参加者の偏りについては、個別で話を聞くなど、対策をとっていることも確認した。また、利用者同士の関係が円滑になるようきっかけづくりにも努めていることも確認した。
利用者の主体性を尊重し、見守るスタンスで支援しているが、社会や外部との結びつきが心身の健康に大きく関わっているとの考えから、介護予防総合センターや、いきいきプラザへの活動参加を積極的に促している。ひきこもりがちな利用者の居室には、設備点検とあわせて生活状況も確認している。自立型の施設であるため、利用者が当施設で暮らし続けるためには、心身共に健康を保つ必要がある。引き続き、利用者自身が前向きに運動したり、外出することを促していくことが望ましい。		介護予防・自立といったキーワードに基づいて、介護予防総合センターやいきいきプラザのみならず、自主活動グループなどの情報も、社会福祉協議会のスタミナ！～港区高齢者地域活動情報サイト～などを利用し、情報提供をした。クラブ活動や季節の行事なども開催し、ケアハウス内での生活充実するよう支援し、気持ちが外に向くような声かけも心がけた。	ケアハウス港南の郷は自立型の施設であり、入居者は要介護状態になってしまった場合は、介護型の施設へ移らなければならない、という危機感をもっているように感じられる。危機感という形ではなく、前向きに介護予防や健康維持が図れるような声かけを心がけ、積極的に前向きな生活が営めるよう、施設内のクラブ活動や行事を充実させていきたい。また、天気の良い日は必ず外出したい気持ちになるような声かけや地域のイベントなどの情報提供を継続させたい。	入居者の心身の健康のための支援として、施設内の行事を実施したり、さまざまな情報提供を行っていることを確認した。また、入居者が前向きな生活を営めるよう、施設内の取り組みを充実させていく意向であることを確認した。